

2018年度北極域研究推進プロジェクト公開講演会

北極の環境変化と 人々への影響

参加無料

先着400名様

日時

2018年11月9日(金)

17:30~20:30 (開場17:00)

会場

一橋講堂

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

学術総合センター2F

東京メトロ半蔵門線/都営三田線/都営新宿線
神保町駅(A8・A9 出口) 徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅(1b 出口) 徒歩4分

北極でいま、何が起きているのか。

それは、私たちの生活にどんな影響を与え、

彼の地に生きる人々の暮らしにどんな変化をもたらすのか。

事実を科学的に理解することから始めませんか。

■ 共同主催



2018年度北極域研究推進プロジェクト公開講演会

北極の環境変化と人々への影響

私たちや北極域の人々の持続的かつ強靱な社会生活を実現するためには、急激に進む北極域の気候変動を正しく理解し、科学研究をさらに進めていく必要があります。北極の陸や海にどのような変化が起きていて、それが日本や世界の人々にどのような影響を及ぼしているのかをご紹介します。

《第1部》講演

北極域での観測活動やモデルを使った将来予測などから見えてきた北極の姿を、北極研究の最前線に立つ研究者たちがご紹介します。

講演1 17:45~18:10

暖まる大気と大地ー北極周辺の気候変動とその影響のつながり

飯島 慈裕 (三重大学 生物資源学研究所 准教授/ArCSテーマ4・7研究協力者)

講演2 18:10~18:35

近年のグリーンランド氷床表面の暗色化

青木 輝夫 (岡山大学 大学院自然科学研究科 理学部地球科学科 教授/
ArCSテーマ2・3研究協力者)

講演3 18:35~19:00

海氷減少と海洋環境の変化

菊地 隆 (海洋研究開発機構 北極環境変動総合研究センター 上席技術研究員/
ArCSテーマ4実施責任者)

《第2部》パネルディスカッション

研究から徐々に見えてきた北極の将来の姿を踏まえて、さらに科学が何をなしえるのかを考えます。

19:15~20:25

北極域の環境変化のインパクト

モデレーター 室山 哲也 (元・日本放送協会 解説主幹)

パネリスト 飯島 慈裕 (三重大学 生物資源学研究所 准教授/
ArCSテーマ4・7研究協力者)

内田 雅己 (国立極地研究所 国際北極環境研究センター
准教授/ArCSテーマ6実施担当者)

大塚 夏彦 (北海道大学 北極域研究センター 教授/
ArCSテーマ7実施担当者)

近藤 祉秋 (北海道大学 アイヌ・先住民研究センター
助教/ArCSテーマ7実施担当者)

下田 高明 (株式会社ロイヤルグリーンランドジャパン
代表取締役)



会場案内

一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2F

《アクセス》

東京メトロ半蔵門線/都営三田線/都営新宿線 神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩 4 分
東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩 4 分

■お問い合わせ先

情報・システム研究機構 国立極地研究所 国際北極環境研究センター

e-mail: arcs@nipr.ac.jp TEL: 042-512-0915

■お申し込み・詳しくは

<https://www.arcs-pro.jp/20181109kouenkai/>

